

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 藤井産業株式会社  
 コード番号 9906 URL <http://www.fujii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 藤井 昌一  
 (氏名) 秋本 榮一  
 配当支払開始予定日

TEL 028-662-6018  
 平成23年12月9日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,977	11.6	186	—	373	679.5	106	—
23年3月期第2四半期	22,388	3.3	△119	—	47	—	△2	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △67百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △28百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	12.34	—
23年3月期第2四半期	△0.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	29,107	—	13,954	—	44.5	—	1,494.05	—
23年3月期	30,412	—	14,061	—	42.7	—	1,499.24	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 12,950百万円 23年3月期 12,995百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	49,400	1.1	460	105.5	770	36.6	400	18.3	46.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,010,000 株	23年3月期	10,010,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,342,026 株	23年3月期	1,341,979 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	8,667,987 株	23年3月期2Q	9,283,438 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている将来の業績、見通しなどは、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料 2ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産活動においては東日本大震災で寸断されたサプライチェーンの早期復旧の結果持ち直しの動きが進み、設備投資も改善の兆しがでてきましたが、震災の影響は大きく、個人消費の低迷や雇用情勢が好転しないなど依然として厳しい状況で推移しています。また、欧州での財政問題からの金融不安やアメリカ経済回復の弱さによる急速な円高の進行は、景気下振れや国内産業空洞化リスクの増大を招いています。このような状況の中で、当社グループとしては、「環境」「省エネ」商材を一層積極的に推し進めるとともに粗利率改善に向けた取り組みを続けてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は売上高249億77百万円（前年同四半期比11.6%増）、経常利益3億73百万円（前年同四半期比679.5%増）、四半期純利益1億6百万円（前年同四半期は四半期純損失2百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (電設資材)

産業用太陽光発電システムが大きく落ち込み、エコキュート、IHクッキングヒーターも低調であり新規の弱電工事設備案件も減少基調でしたが、震災復旧関連工事の増加から、電線、電路資材等の売上が伸びたこと、商品供給不足が解消され夏の猛暑からエアコン販売が回復したことなどにより、売上高は130億56百万円（前年同四半期比8.5%増）となりました。

#### (産業システム)

機器制御は、サプライチェーンの被災により資材不足や納期遅延が懸念されましたが、電力使用制限に関する緊急設備受注や震災復旧に関わる生産財や生産設備の受注増加により、主力製品の売上が伸長し前期比増の売上高となりました。設備システムは、東北地区や水戸地区の震災復旧工事案件が好調でしたが、前期にあった電力会社関係への材料販売売上がなかったため前期比減の売上高となりました。情報システムは、当社提案による学校関係のパソコン教室案件などの受注が好調に推移し前期を大きく上回る売上高となりました。この結果、売上高は57億97百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

#### (施工)

建設資材工事、総合建築工事共に震災による緊急対応工事の影響並びに、復旧工事案件を中心とした引き合い件数が増加したことから前期比増の売上高となりました。コンクリート圧送事業については栃木県内の新規建設投資需要の低迷が続き前期比大幅減の売上高となりました。この結果、売上高は44億88百万円（前年同四半期比50.4%増）となりました。

#### (土木建設機械)

土木建設機械のコマツ栃木㈱は、新車や中古車の供給不足が大きく影響し販売面では低調に推移しました。メンテナンスサービスは機械稼働の上昇から前期比増の売上高となり、レンタル事業も復旧関係工事の需要が増加した結果前期比増の売上高となりました。この結果、売上高は16億34百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億4百万円減少し、291億7百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度に比べ9億60百万円減少し、211億28百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したことが主な要因であります。固定資産は、前連結会計年度に比べ43百万円減少し、79億78百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度に比べ10億53百万円減少し、138億32百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が減少したことが主な要因であります。固定負債は、投資有価証券時価下落の影響から繰延税金負債減少の影響により、前連結会計年度に比べ1億43百万円減少し、13億21百万円となりました。

なお、純資産は、その他有価証券評価差額金の減少の影響により、前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少し、139億54百万円となり、自己資本比率は44.49%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、現時点において平成23年5月12日公表の業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,705,708	5,899,495
受取手形及び売掛金	15,122,764	13,032,333
商品	1,439,035	1,551,819
未成工事支出金	518,858	665,437
原材料及び貯蔵品	2,413	2,735
その他	377,615	289,770
貸倒引当金	△76,530	△312,688
流動資産合計	22,089,866	21,128,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,527,844	1,492,684
土地	3,442,692	3,442,692
その他（純額）	255,628	305,240
有形固定資産合計	5,226,165	5,240,617
無形固定資産	72,871	68,336
投資その他の資産		
投資有価証券	1,919,813	1,568,892
その他	1,232,596	1,207,176
貸倒引当金	△128,610	△106,117
投資その他の資産合計	3,023,798	2,669,951
固定資産合計	8,322,836	7,978,905
資産合計	30,412,703	29,107,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,662,657	9,766,330
短期借入金	2,800,000	2,850,000
未払法人税等	205,982	183,730
賞与引当金	330,650	353,100
役員賞与引当金	17,210	8,575
工事損失引当金	—	1,356
災害損失引当金	37,938	17,300
その他	831,524	651,942
流動負債合計	14,885,963	13,832,334
固定負債		
退職給付引当金	814,873	832,485
役員退職慰労引当金	236,320	231,865
債務保証損失引当金	4,500	4,500
その他	409,187	252,257
固定負債合計	1,464,881	1,321,108
負債合計	16,350,845	15,153,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,883,650	1,883,650
資本剰余金	2,065,090	2,065,090
利益剰余金	9,482,473	9,554,724
自己株式	△673,987	△674,011
株主資本合計	12,757,225	12,829,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238,230	120,910
その他の包括利益累計額合計	238,230	120,910
少数株主持分	1,066,401	1,004,001
純資産合計	14,061,857	13,954,365
負債純資産合計	30,412,703	29,107,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	22,388,538	24,977,132
売上原価	19,623,778	21,544,199
売上総利益	2,764,759	3,432,933
販売費及び一般管理費	2,883,856	3,246,488
営業利益又は営業損失(△)	△119,096	186,444
営業外収益		
受取利息	7,855	5,824
受取配当金	6,793	15,223
仕入割引	108,350	119,575
受取賃貸料	35,459	32,604
持分法による投資利益	9,700	14,849
その他	37,415	36,512
営業外収益合計	205,574	224,589
営業外費用		
支払利息	9,247	9,167
売上割引	8,844	9,324
賃貸費用	14,329	13,792
その他	6,181	5,551
営業外費用合計	38,603	37,836
経常利益	47,873	373,197
特別利益		
貸倒引当金戻入額	13,376	—
特別利益合計	13,376	—
特別損失		
投資有価証券評価損	28,589	40,542
固定資産除却損	—	6,340
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,567	—
特別損失合計	44,156	46,882
税金等調整前四半期純利益	17,094	326,315
法人税等	1,758	200,259
少数株主損益調整前四半期純利益	15,335	126,055
少数株主利益	17,539	19,132
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,204	106,923

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,335	126,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,178	△188,847
持分法適用会社に対する持分相当額	△676	△5,205
その他の包括利益合計	△43,854	△194,052
四半期包括利益	△28,518	△67,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,575	△10,396
少数株主に係る四半期包括利益	16,057	△57,600

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,094	326,315
減価償却費	117,991	114,571
固定資産除却損	—	6,340
投資有価証券評価損益 (△は益)	28,589	40,542
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,567	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△19,732	213,664
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,500	22,450
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,100	△8,635
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	46,884	17,612
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△34,208	△4,455
受取利息及び受取配当金	△14,648	△21,047
支払利息	9,247	9,167
持分法による投資損益 (△は益)	△9,700	△14,849
売上債権の増減額 (△は増加)	984,998	2,090,431
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△26,386	△259,684
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,303,334	△896,327
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	7,093	1,356
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△85,538	△173,492
その他	21,449	93,295
小計	△264,234	1,557,255
利息及び配当金の受取額	15,800	21,843
利息の支払額	△8,576	△8,681
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	63,617	△208,328
災害損失の支払額	—	△20,638
営業活動によるキャッシュ・フロー	△193,393	1,341,450
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△67,138	△168,316
有形固定資産の売却による収入	41,908	24,189
投資有価証券の取得による支出	△100,559	△5,135
その他	△24,389	△8,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150,178	△158,167
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	50,000
配当金の支払額	△29,004	△34,672
少数株主への配当金の支払額	—	△4,800
その他	△33	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	170,962	10,504
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△172,609	1,193,787
現金及び現金同等物の期首残高	5,523,794	4,705,708
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,351,185	5,899,495

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	電設資材	産業システム	施工	土木建設機械	合計
売上高					
外部顧客への売上高	12,039,756	5,870,984	2,983,397	1,494,400	22,388,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,547	30,734	3,567	201	38,051
計	12,043,304	5,901,718	2,986,964	1,494,602	22,426,589
セグメント利益又は損失(△)	32,914	120,624	△172,228	42,445	23,756

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	23,756
持分法による投資利益	9,700
配賦不能全社損益(注)	14,050
その他の調整額	366
四半期連結損益計算書の経常利益	47,873

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社本部・管理部門の一般管理費及び営業外損益であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	電設資材	産業システム	施工	土木建設機械	合計
売上高					
外部顧客への売上高	13,056,653	5,797,560	4,488,065	1,634,853	24,977,132
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,140	18,421	11,762	279	37,603
計	13,063,793	5,815,981	4,499,827	1,635,133	25,014,736
セグメント利益又は損失(△)	△10,483	288,424	7,417	53,275	338,633

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	338,633
持分法による投資利益	14,849
配賦不能全社損益(注)	19,872
その他の調整額	△158
四半期連結損益計算書の経常利益	373,197

(注) 配賦不能全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない当社本部・管理部門の一般管理費及び営業外損益であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。